

## 川代棚田共育プロジェクト

提供学科：福祉総合学科

### ◎ 目的

本プロジェクトは、地域共生の価値を学び、地域共生社会の実現に向けた課題解決に取り組むことを目的としています。具体的には、学校法人城西大学の創立者である水田三喜男先生の故郷・千葉県鴨川市を訪問し、棚田の保存活動を通じて地域振興に貢献しています。日本の田植え、稲刈り、収穫祭の文化は地域ぐるみの助け合いの象徴であり、農作業には多くの人々の心と力を合わせることが求められます。共に学び、成長し合う「共育」を推進しています。また、建学の精神である「学問による人間形成」を体感し、異なる背景を持つ人々（留学生、地域住民）と協力しながら、SDGs に沿った社会貢献を実践しています。



### ◎ 実施内容

- 川代棚田を体験フィールドとした活動
  - 田植え（5月）
  - 稲刈り（8月）
  - 収穫祭（10月）
    - ①房州名産の太巻き祭り寿司制作
    - ②餅つき体験
    - ③BBQで棚田オーナーの皆さんをおもてなし
- デイサービスセンター「ゆうらく」との交流会（6月）
  - 中国アニメーション映画鑑賞会
  - おむすびアート制作
  - 紙コップを使った雄鶏アートを使った創作体験プログラムの企画を実施



### ◎ 学びの効果

実際に稲を栽培し、田植えから収穫までの作業を体験することで、棚田の伝統を守ることの大切さや、お米をすることの大変さに気づきました。農作業では、地元の方々から手作業での田植えや収穫の方法を教わり、学生たちも質問をして主体的に学びました。秋の収穫祭では、田植えや稲刈りで得た学びを地域の方々にポスター発表し、収穫したお米を振る舞うなど心温まる体験を共有することができました。

これらの活動を通じて、日本の伝統文化を体験的に学ぶとともに、現代における農村の地域作りと地域活性化の課題に気づくことができました。また、デイサービス利用者との触れ合いを通じて、傾聴や共感の大切さを学び、福祉を学ぶ学生の就職志望にもつながりました。